

お知らせ

パート I

催し

ウオーキング習慣を生かし 吉高の大桜を訪ねよう

市の天然記念物、樹齢300年を超える大桜の生命力と風格に触れてみましょう。

●印西市地区健康推進員主催。

■4月12日(火)・午前9時〜。

■印旛中央公園集合。

■吉高の大桜を見るだけでなく、ナウマン象の化石が出てきた川のほとりも歩く約7kmの散策を楽しみます。

■一般(幼児は保護者同伴)。

■20人程度。

■無料。

■徒歩しやすい服装と靴で飲み物、タオル、雨具を持参。

■事前に電話または左記窓口まで(先着順)。
■本笠保健センター(☎97-1111代)。

中根「八幡神社の獅子舞」を見学する春のウォーク

市指定無形民俗文化財・八幡神社の獅子舞やロケ地としておなじみの一本榎をご案内します。春の本笠地区を満喫しませんか。

■4月17日(日)・午前11時30分〜午後4時(予定)。

■北総線印旛西牧の原駅集合。

■印旛西牧の原駅→中根の榎→東漸寺→八幡神社→龍腹寺→印旛西牧の原駅。

※昼食を済ませて参加してください。

■50人。

■一人300円(保護者同伴の費用)。

福祉

成年後見制度講演会

●NPO法人市民後見人センター印旛主催。

■4月14日(木)・午後1時30分〜。

■佐倉コミュニティセンターホール(佐倉市)。

◆講師：内藤健三郎氏(市民後見人センターきょうと代表者)。

■テーマ「もっと身近に！成年後見」。

■90人。

■無料。

■不要(先着順)。

中学生以下は無料)。
■飲み物、敷物を持参。

■4月10日(日)までに住所、氏名、電話番号をFAXまたはメールで左記へ。

■印旛西ふさと案内人協会・井越(☎/FAX 0193・inza)

■furusato@yahoo.co.jp)。

※問い合わせは午後7時〜9時。

講演会&上映会

障害のある人もない人も暮らしやすい共生社会を実現するために

■3月26日(土)・午前10時〜正午。

■文化ホール多目的室。

◆講師：家城佳代氏(千葉県障害福祉課職員)。

■【講演】テーマ「障害のある人もない人も暮らしやすい千葉県つくり等の現状と課題」。

■【上映会】「命のことづけ」〜死亡率2倍障害のあるひとたちの3・11〜。

■無料。

■印旛市障害者団体連絡協議会・畑中(☎090-6012-4484)。

■障がい福祉 巡回相談

障がい福祉サービスの利用や悩みなどに相談員が応じます(要予約)。

■場所は、次のとおり。

■事前には左記まで。

■岡村(☎090-9679-9049)・茨田(☎5615)。

道作古墳群歴史広場が完成

道作1号墳・4号墳・5号墳を公開

小林字馬場に所在する市史跡「道作1号墳・4号墳・5号墳」の保存を目的とした歴史広場の整備工事が完了しました。

古墳とは、当時の有力者が築造した墳丘を持つ墓のことで、道作古墳群は、古墳時代後期から終末期にかけての重要な古墳群です。このうち、印旛沼西岸域で最大級の前方後円墳(45m)である1号墳を含めた3基の古墳を間近で見学できます。

■生涯学習課文化班(☎内線546)。



▶印旛地域を代表する重要な古墳群の1つです(道作古墳群歴史広場)



巡回相談 日程表

日時	会場	申し込み
第1・3火曜日・午前10時〜正午(祝日の場合は無し)	印旛支所 1階相談室	いんば障害者相談センター(☎992501)
第2・4火曜日・午前10時〜正午(祝日の場合は無し)	本笠支所 1階相談室	

■いんば障害者相談センター(☎992501)、障がい福祉課(☎992506)。

石巻さ ございん!

石巻市に復興支援で派遣の市職員が魅力をPR

東日本大震災から5年が経過。復興支援のため市では被災地に職員を派遣しています。平成25年度は南相馬市へ1名(村田大介)、平成26年度からは石巻市に1名(齊藤忠明)。今なお復興の途上にある被災地を支援するため、派遣職員の寄稿を掲載します。

イギナリうめもん ほかの石巻さございん

※とてもおいしいものが
たくさんある石巻に
来てください



— 齊藤忠明 —

災害派遣職員として、平成26年4月から石巻市に勤務しています。現在は地域コミュニティの再生支援や復興公営住宅の入居支援業務にあたっています。

石巻の街並みや建物の再建は日ごとに進んでいますが、いまだに仮設住宅での生活を余儀なくされている人や慣れない復興住宅の生活で体調を崩している人が大勢います。本当の意味で復興というには、まだまだ時間がかかると感じています。

震災を風化させないためには「忘れない」ことが一番大切で、次に「長い目で見た支援」を続けていくことが、復興に向かう東北や石巻市の力になります。

支援の方法の1つに、実際に石巻に足を運んでいただくことがあります。参考に代表的な観光コースを紹介させていただきます。

東北新幹線を利用して、午前9時に東京駅を出発

すると、10時30分ごろには仙台駅に到着。仙台駅からは、仙石東北ラインか仙石線を利用すると、終点石巻駅には12時ごろに到着できます。

昼食には、石巻が誇るご当地グルメ「石巻焼きそば」がおすすめです。特徴はあらかじめ2度蒸した麺を使い、魚介だしで蒸し焼きにするところ。だしを吸い込みやすくなり、うまみが凝縮された焼きそばに仕上がります。最初は魚介だしの風味を楽しみながら一口、途中からはソースを後がけで食べるのが本場「石巻焼きそば」の流儀です。

おなかを満たしたら、レンタカーでドライブはいかがでしょう。最初は「日和山公園」に向かってください。高台から復興の進むまちと太平洋を見ることが出来ます。公園の東側に進むと白いおまんじゅうのような建物が見えます。こちらは「石ノ森萬画館」といい、仮面ライダーなどで知られるマンガ家・石ノ森章太郎氏のマンガミュージアムです。



日和山公園

さらに、15分ほど車を進めると「宮城県慶長使節船ミュージアム」に到着します。ここには約400年前に伊達政宗の命を受け、スペインやイタリアへ向かった木造船が復元・係留されています。江戸時代以前から栄えていた石巻の歴史を感じるポイントです。



▲石巻焼きそば▶金華井

夕食は、ぜひ「三陸海の幸」をお楽しみください。石巻には、漁獲種が多い優良な漁場として、世界三大漁場の1つ「三陸・金華山沖」があります。この周辺海域で獲れる大型のマサバは「金華さば」と呼ばれ、高鮮度で脂のりがよく、ブランド魚として人気です。

また、三陸特有のリアス式海岸は「カキ」や「ホタテ」、「ホヤ」など、多くの貝類が大きく美味しく育つ極上の環境が整っています。これらを最高においしく食べさせてくれる寿司店をはじめ、味自慢の飲食店が市内には多数あります。米どころ東北の誇る石巻の美味しいお酒やお米とともに、海の幸をおなかいっぱい楽しんでいただけたらと思います。

決して気軽という距離ではありませんが、復興に向かう東北を石巻を、実際に目で見て肌で感じてもらえればと思います。

— みなさん「石巻さございん」 —